TTBiz2025（JA Travel and Tourism Business Program）募集要項
～アジアの高校生と一緒に旅行ビジネスプランを作ろう！～

2025 年 6 月

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

はじめに

日本は豊かな観光資源に恵まれ、円安もあり海外旅行先として大変な人気を博しています。しかし同時に、環境破壊や地域住民の生活を脅かすなど、オーバーツーリズムが大きな問題になっています。TTBiz2025 では、日本の高校生とアジアの生徒が一緒に「サステナブルな旅行とは何か」という視点で、ユニークな旅のアイデアを立案します。

TTBiz とは

韓国、シンガポール、フィリピンをパートナーとして、「次世代グローバル人材の育成」を目標に 2012 年にスタートしました。単に英語力を問うのではなく、自身の意思を伝えたい、あるいは相手の考えを理解したいという意欲を持ち、異なる価値観や文化を持つチームメンバーと能動的にコミュニケーションを行うことで、新たな価値を生み出せる真のグローバル人材育成を目指します。

本プログラムは、チームアドバイザーの企業社員から助言を得ながら、様々なオンラインツールを駆使して多国籍チームで議論、旅行企画立案、4 ヶ国を Zoom で繋いで行うプレゼンテーションなど、貴重な体験ができるユニークなものです。また、全て企業からの寄付で運営する非営利の教育活動です。

TTBiz の目的

- 自国の文化・歴史・価値観等を再認識し、海外へ説明できる、また他者の意図の理解力
- 異なる文化・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかろうとする意欲
- 自分で課題を発見し、問題解決に向けて行動できる積極性
- チームディスカッションを通じて様々な異なる意見をまとめるリーダーシップ
- マーケティング、PR、チームワーク、スケジュール調整、プレゼンテーションなど、将来グローバル社会で求められるビジネススキル
- 単に利益を上げることを目的としたビジネスアイデアではなく、社会にポジティブなインパクトを与えるための視点

TTBiz2025 の進め方

2 人組でエントリー。日本の高校生は、くじ引きで韓国、シンガポール、フィリピンのうち 2 ヶ国の高校生ペアとチームを組み、計 3 ヶ国から成る多国籍チームで協業、所定の条件に基づいたインバウンド旅行プランを立案します。書類選考を通過したチームは、更に企業社員がチームアドバイザーとなり、ウェブ会議やメールなどでアドバイスを受けながら企画をブラッシュアップ。予選のプレゼンテーションを通過したチームは更に最終審査会へ進み、最も優れたチームは、海外メンバーと共に日本でのスタディツアーに参加し、初めて対面でチームワークを深めます。（全てのプロセスは英語で行われます）

【学校にお願いしたいこと】
生徒が自主的に進めるプログラムのため、企画内容についての指導は不要ですが、下記をお願いいたします。

- 事務局であるジュニア・アチーブメント日本との連絡窓口
- **学校でグループ活動を行う際は、ネット会議へ接続できるインターネット環境と会場の確保（自宅も可）**
- 最後までやり遂げられるよう生徒への動機付け、社会人と接するにあたってのマナー指導

参加資格（定員 30 ペア）①～⑫を全て満たすことが参加条件です

① **高校 1～2 年生**。**必ず 2 名 1 組のペア**で申し込んでください。1校あたりの参加ペア数に制限はありませんが、**長期にわたるプログラムのため、最後までやり遂げようという意欲を持った生徒**の選出をお願いいたします。異なる学校の生徒同士でチームを組んでも結構です。今回から**高校 3 年生の参加は不可**とします。
② 英語スキル（読む、聞く、書く、話す）がある、もしくは積極的に伸ばしたいという意欲があること
③ 異なる文化や習慣を持つ海外の高校生と、積極的にコミュニケーションを図る意欲があること
④ 自ら問題を発見し、解決に向けて行動できる積極性があること
⑤ 事務局・アドバイザー社員は、社会人として生徒と接します。場合によっては厳しい指摘・指導もあります
⑥ **全員学校が休みの時も確認できる添付ファイル受取り可能なメールアドレスを保有**していること
※yorikr@ja-japan.org からのメールを受信できるよう設定願います
⑦ **キックオフミーティング・予選会・最終審査会（Zoom によるオンライン実施）に全員参加できる**こと（予選は書類選考通過チーム、決勝戦は予選通過チームのみ）
⑧ プログラムの事前・事後に実施されるアンケートに全て回答すること
⑨ TTBiz 実施中に短期留学など校外の他プログラムに並行参加しない
⑩ より多くの生徒さんに体験していただくため、**過去に TTBiz に参加していない**こと（コンセプトペーパー選考を通過できなかった方は参加資格あり）
⑪ 連絡窓口となっていただけるご担当教員が1名決まっていること
⑫ 生徒本人ならびに保護者の方に以下の事項にご了承いただけること
- ✓ 活動の模様は、写真・ビデオ撮影されること。また、撮影された写真およびビデオは、プログラム普及活動等およびジュニア・アチーブメント日本、アクセンチュア株式会社、Bloomberg の広報活動等において公開される可能性があること
- ✓ メディアの取材等が入り、活動の模様が一般公開される可能性があること

参加費用
無料（オンライン参加のためのネット環境とデバイス準備は自己負担）

参加チーム選考のステップとお申込み方法

- **ステップ1**
希望生徒の有無に関わらず、①学校名②教諭氏名③メールアドレス④電話番号を明記の上まずはご担当教諭より **yorikr@ja-japan.org** までエントリーシートをご請求下さい。

- **ステップ2**
次の 2 点を提出
①エントリーシート（生徒自身がチームで記入）
②パワーポイント 1 枚の課題
2025 年 7 月 25 日（金）必着で送付

➢ **ステッ 3**

ステップ 3 で提出された①②を審査し、**2025 年 7 月 31 日（木）まで**に参加可否をご担当の先生と生徒さんにお知らせいたします。

特別協賛：アクセンチュア株式会社　**主催：公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本**　**協賛：ブルームバーグ・エル・ピー**

お申込・お問合わせ先

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本 E メール：yorikr@ja-japan.org　担当：黒木

※完全リモートワーク中につき、お問い合わせは必ずメールでお願いいたします

活動スケジュール（キックオフ、予選、最終審査会以外は予定ですので変更の可能性もあります）

日 程	活 動
8 月 17 日（日） 14:00-16:00	キックオフ：概要説明、チーム組合せ発表
8～9 月（日時未定）2 回	Input Session：スペシャリストによるオンラインレクチャー
9 月：ここまでは生徒のみで活動	コンセプトペーパー作成
10 月 3 日（金）：コンセプトペーパー提出締切 **10 月 17 日（金）**：書類選考通過チーム発表	書類選考通過チームに担当アドバイザーを紹介
10～11 月の提示された日時から選択	中間報告会（チーム別公式 Zoom 会議）
11 月中旬～2026 年 1 月：チーム毎に活動	アクティビティレポート提出、リハーサル実施
2026 年 1 月 25 日（日） 14:00-17:00	予選会
2026 年 3 月　8 日（日） 13:30-17:00	最終審査会（予選通過チームのみ）
2026 年 6 月中（仮）	優勝チームの日本スタディツアー

過去の参加生徒の声　OM さん（2023 年度参加 熊本県立玉名高等学校）

私は TTBiz で何にも代えがたい経験や感動を知ることが出来ました。その中でも私が特に印象に残っている3つについて紹介します。

はじめに、外国の生徒との交流です。言語の違いの壁は私が思っていたよりも大きく、海外メンバーとの初めての顔合わせでは緊張して全くコミュニケーションを取れませんでした。そして、情報の共有を行うときに、時差や、年齢の違い、所属部活動等の違い等のことから順調に意見交換が出来ていませんでした。しかし、私はメンバーの優しい気遣いにとても助けられました。時間が合ったときには積極的に議論に取り組んでくれたり、発表前日には Zoom で夜遅くまで発表の練習をしたりしました。これらは私にとってとても楽しい思い出であり、青春の一部と言えるでしょう。このメンバーでなければ私は優勝することも出来なかったかもしれないといっても過言ではありません。私が TTBiz に参加しなかったら交わることもなかったであろう海外メンバーと戦友としてかけがえのない友情を育むことが出来たことに自分でも驚いているし、このような機会をくださったこのコンテストに参加してよかったと思っています。

次に、「かっこいい大人」との出会いです。私達のチームには明るくチームを引っ張ってくださる2人がついてくださいました。お二人はいつも的確かつ分かりやすいアドバイスをくださったので私達の旅行プランをより良いものとすることが出来ました。また、他にもインプットセッションなどを通して多くのかっこいい大人の話を聞いたりすることが出来ました。

そんな方々に実際に Study Tour でお会いしたときに、自分の仕事にプライドを持って働いていらっしゃるということが伝わってきました。このかっこいい大人達との出会いによって、そのような方々に強い憧れを抱くようになったと同時に、自分も将来、自分の仕事に誇りを持って働けるかっこいい大人になれるようにこれから頑張ろうと、自分自身の目標を明確にさせてくれるような良い経験となりました。
最後に、旅行プランを考えることの難しさ、楽しさです。私はこのコンテストに参加する前までは、流行の観光地を選べばいいんじゃないかぐらいとしか考えていませんでした。しかし、実際には場所だけではなく様々なことについて考慮したり、いかに Sustainable かをアピールしていくのか等、多くのことを考える必要があり、とても難しいことだと気づきました。また、課題の旅行プランをチームで深めていく中で、海外メンバーの意見は日本に住んでいる私でも思いつかなかったものもあり、自分と違う視点からの意見を聞き、取り入れることでより良いものとしていくのがとても楽しかったです。そして、他のチームの発表を聞くことも私達のチームとは異なるアイデア、着眼点、旅行プランにかける思いを知る良い機会となりました。
このような体験を通して、TTBiz に参加したからこそできた貴重な体験を多くの方に知ってもらうとともに、是非チャレンジしてほしいと思います。また、TTBiz は終わってしまいましたが、出会うことができた様々な人とのつながりをこれからも大切にしていきたいです。

➢ ジュニア・アチーブメントについて

米国で発足した世界最大の経済教育団体で、設立 100 年を超える民間の非営利団体です。日本本部の設立は 1995 年で、教材を導入する学校は全国に拡大しています。社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質（主体的に社会に適応できる力）を育むための支援を提供しています。詳しくは、ウェブサイト www.ja-japan.org をご参照ください。

➢ アクセンチュアについて

アクセンチュアは、世界有数のプロフェッショナル サービス企業です。アクセンチュアは、世界をリードするさまざまな企業や行政機関などの組織の中核にデジタル技術を実装することで、組織運営を最適化し、収益を拡大させ、また市民サービスの向上にも貢献するなど、お客様に対して目に見える成果を圧倒的な規模とスピードで創出しています。 アクセンチュアでは、優れた才能でイノベーションを主導するおよそ 801,000 人の社員が 120 カ国以上のお客様に対してサービスを提供しています。 また、テクノロジーが変革の成否を分ける時代において、世界中のエコシステム・パートナーとの緊密な連携を図りつつ、クラウド、データ、AI および業界ごとの比類のなき知見、専門知識や、グローバル規模のデリバリー能力を最適に組み合わせてお客様の変革を支えています。アクセンチュアは、ストラテジー＆コンサルティング、テクノロジー、オペレーションズ、インダストリーX、ソングの領域をまたぐ、幅広いサービス、ソリューションやアセットを活用して成果につなげています。アクセンチュアでは、成功を分かち合う文化や、360 度でお客様の価値創造を図ることで、長期にわたる信頼関係を構築しています。またアクセンチュアは、お客様、社員、株主、パートナー企業、社会へ提供している 360 度での価値創造を、自らの成功の指標としています。
アクセンチュアの詳細は http://www.accenture.com/us-en を、アクセンチュア株式会社の詳細は www.accenture.com/jp-ja をご覧ください。

➢ アクセンチュア株式会社の企業市民活動「Skills to Succeed」について

アクセンチュアは、事業活動を通じて培った「人材のスキルを高めるノウハウ」を生かし、Skills to Succeed（スキルによる発展）と呼ぶ全世界共通の社会貢献テーマに取り組んでいます。高い実行力を持った NPO 法人と協力して、国や地域の実情に合わせて選択した「人材スキルの向上」に関わる様々な活動を推進しています。日本においては、グローバル化や少子高齢化、労働人口の減少などの社会の構造的な変化のなかで経済を持続的に発展させていく必要があります。そのためには、働く意欲のある全ての人々に経済活動へ参加機会を提供し、スキル向上によって、個々人がより高いレベルで能力を発揮していくためのスキル向上支援が欠かせないという課題認識のもと、社員の能力を活かして国や地域の経済発展に貢献できる環境づくりを促進しています。将来の日本の国際競争力に関わる人材課題として 8 つのテーマを掲げ、多様な活動を展開しています。その一環テーマの1つとして、初等・中等教育課程の子どもたちを対象にした「次世代グローバル人材の育成」に取り組んでいます。